

今、何の病気が流行しているか！

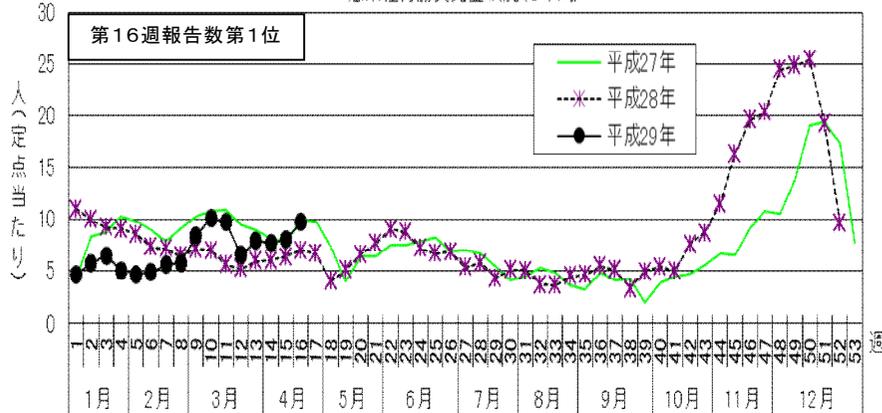
【感染症発生動向調査事業から】

平成29年4月17日（月）～平成29年4月23日（日）〔平成29年第16週〕の感染症発生状況

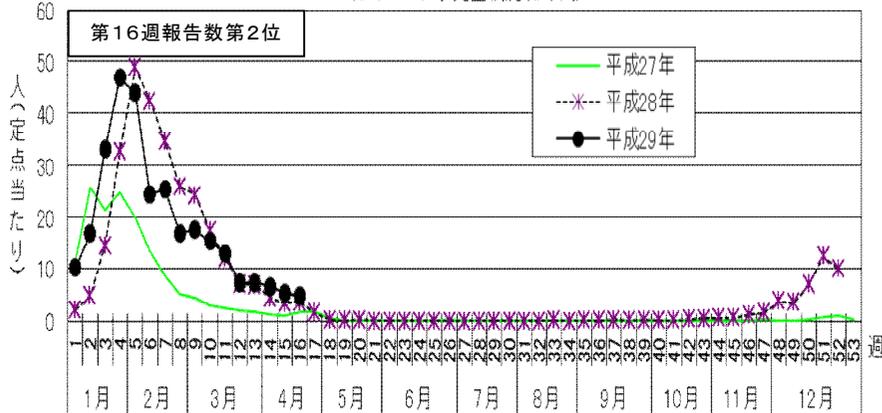
第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.69人と前週（7.97人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.86人と前週（5.47人）から横ばいで、例年よりやや高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.63人と前週（2.66人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外で気をつけたい感染症の予防方法～

ゴールデンウィークには海外へ渡航される方も多くなります。海外滞在中、安全で快適に過ごし楽しい旅行となるよう、海外で注意すべき感染症及びその予防対策についてお知らせします。

食べ物や水を介してうつる感染症

赤痢、腸チフス、腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、A型肝炎、E型肝炎などは病原体に汚染された食べ物や水を介して感染します。

- ◆ こまめに手を洗う。
- ◆ 生水、氷、生野菜は避ける。
- ◆ 十分に火の通った物を食べる。

蚊を介してうつる感染症

マラリア、デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、黄熱などは病原体を保有した蚊に吸血された際に感染します。

＜蚊に刺されない工夫＞

- ◆ 長袖、長ズボンを着用する。
- ◆ DEET、イカリジンの成分を含む虫除け剤を使用する。

※年齢に応じた用法・用量や使用上の注意を守って適正に使用して下さい。

動物からうつる感染症

鳥インフルエンザ、狂犬病、MERS（中東呼吸器症候群）などは病原体を保有する動物からうつり感染します。

- ◆ 動物にはむやみに手を出さず、近寄らない。
- ◆ 手洗い等の一般的な衛生対策を心がける。



麻しんはかつて乳幼児に多い病気でしたが、近年では海外から帰国して発症した方を発端とする集団事例が全国で発生しています。ゴールデンウィークなどに海外旅行を計画している方で、麻しんの罹患歴やワクチン接種歴が明らかでない場合は、麻しん・風しん混合（MR）ワクチンの接種を検討してください。